

CONTENTS

2 「100人の村」で知る世界
ボランティア 竹内英世さん

3 活動フォトニュース

第47回ハンド・イン・ハンド募金 2025年11月30日/12月15、21日実施

「すべての子どもに生きる希望を！」

2026年を迎え、世界の平和と子どもたちの健やかな成長を願い、気持ちを新たにしています。「ユニセフ募金へご協力を！」昨年末、大阪の街に500人余りの声が響きました。募金活動に参加した子どもたちは、この同じ空の下、遠く離れた瓦礫の街に、寒さに震える子どもたちのいることを思い、懸命に呼びかけました。

今、ガザの子どもたちは爆撃の恐怖からほぼ解放され、停戦によって少しずつ進展がもたらされています。保健分野では予防接種を含むプライマリ・ヘルスケアの支援地域が拡大し、飲料水道やポンプ場の緊急修繕も行われ、雨と厳しい寒さが続くなか、約100万枚の毛布と子ども用防寒着キットが届けられました。

しかし、進展の一方で、停戦以降でもガザでは100人以上の子どもが命を落としています。ユニセフ緊急支援局の担当官は、長引く紛争が子どもたちの身体と発達途上の脳に深い傷を残すことを懸念し、恒久的な平和の実現と、ガザの子どもたちの苦しみから世界は目を背けてはいけないと訴えました。

第47回ハンド・イン・ハンド募金のテーマ「すべての子どもに生きる希望を！」は2026年にも呼びかけた、子どもたちへの支援の願いです。(ハンド募金の報告は3面に掲載)

【参考資料】ユニセフ「プレスリリース」

2025年12月22日発、2026年1月13日発



千里中央でのハンド・イン・ハンド募金(豊中市)。元気に呼びかけ、多くの募金が集まりました。2025年12月21日撮影

ボランティア 竹内英世さん 「100人の村」で知る世界

大阪ユニセフ協会が力を入れているのが、学校で行う出前授業。その中のプログラムの一つ、ワークショップ「100人の村」が好評だ。何をしているのか？担当するボランティアの竹内さんに聞いた。

(河合洋成)



竹内英世さん

カードでグループ分け

まず「地球上の人口は100人」と設定すると1人が1%になり、わかりやすい数字に置き換えることで、世界が抱える問題が見えてくるから面白い。

会場は学校の体育館。ロープで大陸ごとの輪を作る。集まった子どもたちには「役割カード」を配布。まずは、書かれている大陸別の輪に移動してもらう。アジアが59人、アフリカが15人、ヨーロッパが11人……と、人口分布の比例をもとに、アジアに人が集中していることからスタートする。

カードに記入されているのはこれだけではない。さらに4項目が待っている。

次は「飲み水」をどうやって確保しているか。自宅の水道は71人▽外から安全な水が21人▽貯めた雨水は6人▽川や池の水が2人。「トイレ」はどうしているか。自宅のトイレは74人▽共同トイレは8人▽不衛生なトイレは9人▽「外で」が同じく9人に。それぞれのグループに分かれると、衛生状態の差がわかってくる。

「栄養状態」はどうか。普通が71人と最多。過体重が13人▽栄養不足も13人▽「死にそう」は3人となる。

富の分配で格差に驚く

最後は「富の分配」。この大きな格差には驚く。大富豪はたった1人▽金持ちは19人▽中間層は40人▽貧乏は27人、そして極貧も13人を数える。このとき、世界の富に見立てた100枚の模擬金貨を各自の所得として配る。大富豪のカードを持つたった1人には48枚が渡されるが、極貧には1人あたり0.08枚。金貨1枚の大部分を切り取ったほんのわずかな欠片しか手にできない。子どもたちはあまりもの違いを実感する。

約10年間、講師を務めるのは竹内英世さん。単純にデータを解説するだけではない。水汲みに往復8時間をかけて行かねばならず学校に行けない子や、貧困に直面

し、極度の栄養失調で死線をさまよっている子どもたちの二の腕周りは10センチを切っているという話もする。一方で日本では大量のフードロスが発生している……、そんなエピソードも欠かさない。金貨を子どもに渡すときはあまりの貧富の格差に驚き、一番盛り上がるという。

手引書の『世界がもし100人の村だったら』（開発教育協会）を参考に「一見しただけでわかりやすく国際理解が進む」工夫を重ね、アップグレードしてきた。「自分の思いや考えは控え、事実だけを伝えるように心がけている。子どもたちには何ができるかを考えてほしい」と竹内さん。

「一番びっくりしたのは栄養が足りなくて、二の腕が500円玉ぐらいの大きさしかない子たちがいること」「今自分が置かれている状況と比べたら、すごく自分は良い環境にいるなど感じた」などの感想がこれまでも寄せられている。竹内さんは「今の子どもたちが想像もできないような世界。みんな真剣な表情で聞いている様子を見ると、時間が足りないくらい」と語った。



役割カードと
模擬金貨

第47回

ハンド・イン・ハンド募金

〈報告〉

11月30日、12月15日、21日 大阪府下延べ14カ所、雨天のため中止6カ所

ハンド募金には24団体、約500人が参加しました。雨天のため一部会場で中止になりましたが、テーマである「すべての子どもに生きる希望を」の願いを込めて呼び掛け、たくさんの募金が集まりました。

募金総額は、742,693円

募金はすべて日本ユニセフ協会へ送金しました。皆さまのご協力に厚く御礼申し上げます。

【参加団体】 関西創価小学校、専修学校クラーク高等学校天王寺校、枚方市立長尾中学校、日本ボーイスカウト大阪連盟〈きたおおさか地区〉枚方第3団、8団、9団、〈なみはや地区〉大阪第131団、126団、27団、11団、85団、164団、〈ほくせつ地区〉豊中第20団、箕面第6団、7団、〈みしま地区〉高槻第4団、6団、〈かわち地区〉八尾第1団、第7団、〈せんしゅう地区〉泉南第2団、〈なんとう地区〉第166団、一般社団法人ガールスカウト大阪府連盟第31団、16団、200団



夢を描く幸せを

ボランティアに登録して2年目の市原信仁いちはらのぶひとさんは、仕事がお休みの日に街頭募金に参加しています。ボランティアになった動機を次のように語りました。「ある日YouTubeの動画を視聴していた際に、UNICEFの広告動画を見たことがきっかけでした。私は小さい夢ですが、夢を叶えた幸せな期間があったので、世界には夢を描くことも難しい子どもたちがいるのか、と衝撃を受けました。そして、自分にできることはないか……と考え、行動に移す決心をしました」。(自分の呼びかけに)「本当に多くの募金をしていただき、中には応援の言葉をかけてくださる人もいて、心が温まる思いでした。呼びかけをすることで人に想いが伝わる可能性があると感じ、これからも声を上げていきたいと思えます」。(ちなみに市原さんの叶えた夢とは、憧れの車に乗れたこと、です。)

(近藤)

活動フォトニュース

やおすい チャリティ Xmas コンサート

12月14日 アリオ八尾レッドコート

「やおすい」こと、大阪府立八尾高等学校の吹奏楽部のコンサートが今年も開催されました。今回は人気の軽音楽だけでなく、木管8重奏「毒蜘蛛伝説」で“和の世界”を表現するなど新分野への挑戦もあり、会場を沸かせました。演奏の合間にはユニセフ募金にたくさんのご協力をいただきました。



天王寺動物園と大阪暁光高等学校コラボ「動物園でクリスマス」イベント参加

12月13日、14日 天王寺動物園

今回、缶バッジ作りと初めてお面作りを用意して参加しました。お面作りは予め画用紙に印刷した動物たちの顔に色を塗ってもらい切り取り、輪ゴムを付けて完成。これが大人気で、なかにはお面を付けたまま帰って行く子もありました。年末の土日でたくさんの親子連れが来場され、ふと見ると募金箱の中に紙幣が数枚。2日間で19,000円程度の募金がありました。(竹内英)



新春交流会 2026

1月24日 大阪倶楽部ホール

大阪ユニセフ協会創設25周年を迎え、新春交流会は旧交を温め、新たな活動の息吹を感じる機会となりました。

この日関西創価小学校から参加した4名の児童代表の皆さんは、ユニセフ学習で学んだことと50名が参加したハンド募金活動について発表。その成果額が発表されると、会場から驚きとともに、称賛の拍手が送られました。

児童による独唱やゲストのペルー出身セサル・ティコナ氏のアンデス音楽もあり、会は和やかに開催されました。80余名参加。(近藤)





活動日誌

2025年11月～2026年1月

11月

- 8日(土) 第1回たこやきキャンパス/難波学習センター講堂▽アリス募金/JR難波駅コンコース▽ボランティア入門講座/大阪ユニセフ協会
- 13日(木) 募金回収/関西国際空港国内線到着ロビー
- 15日(土) アリス募金/JR難波駅コンコース
- 19日(水) ユニセフ写真展(～12/2)/あべのハルカス
- 21日(金) 広報活動/四天王寺の縁日にて(～22日)▽絵本読み聞かせ/OCAT保育園
- 26日(水) ユニセフ写真展(～12月5日)/シティ信用金庫本店
- 28日(金) ボランティアの集い/事務所
- 30日(日) 街頭募金/ハンド・イン・ハンド 京阪枚方市駅 関西創価小学校児童50人

12月

- 6日(土) 広報・募金活動/パルコ「平和の想いをつなぐイベント」

- 13日(土) 広報・募金活動/天王寺動物園と大阪暁光高等学校コラボ「動物園でクリスマス」(～14日)協力
- 14日(日) 広報・募金活動/アリオ八尾「八尾高校クリスマスコンサート」
- 15日(月) 街頭募金/ハンド・イン・ハンド JR長尾駅
- 21日(日) 街頭募金/ハンド・イン・ハンド 大阪府内9ヶ所(雨天中止6ヶ所)▽広報活動/四天王寺の縁日にて(～22日)

1月

- 7日(水) 絵本読み聞かせ/OCAT 保育園
- 10日(土) 出前授業/ふれあい喫茶(社会福祉協議会)「世界の子どもの現状とユニセフの支援」於:大阪市立三国センター▽アリス募金/JR難波駅コンコース
- 21日(水) 広報活動/四天王寺の縁日にて(～22日)
- 23日(金) 出前授業/「国際協力や子ども支援」(a) 於:近畿大学国際学部
- 24日(土) 「創設25周年記念 新春交流会」於:大阪倶楽部ホール
- 27日(火) 出前授業/「国際協力や子ども支援」(b) 於:近畿大学国際学部
- 30日(金) ゴンタ募金(初実施)/近鉄難波駅東改札口

募金

2025年10月から12月まで募金を寄せられたのは個人17件、団体9件でした。

編集後記

本号より4ページ編成で、大阪ユニセフ協会の動きを中心にお伝えします。引き続きご愛読下さいますようお願い致します。▽今回の特集はワークショップ「世界がもし100人の村だったら」の人気の理由をベテラン講師に聞きました。巨万の富も虚しくはないのか。かつてアフガニスタン支援に命を捧げた中村哲医師の言葉「家族で三度の食事ができれば、ほかに何を望むのか」が改めて心に響きます。(近藤)

お知らせ

ユニセフチャリティウォーク開催予定

4月4日(土) 花博記念公園鶴見緑地

ユニセフ写真展 開催予定

2月12日(木)～25日(水) みのお市民活動センター

3月2日(月)～15日(日) ラスタホール (伊丹市)



大阪ユニセフ協会

大阪通信

2026年2月15日発行
Vol.26 No.101(年4回)

制作・発行: 大阪ユニセフ協会

〒556-0017 大阪市浪速区湊町1-4-1 OCAT2F
火～土(祝日は除く) 午前11時～午後4時
毎週月曜、日曜、祝日は休みます

印刷: 株式会社 遊文舎

大阪ユニセフ協会
ホームページはこちら →



お問い合わせ・お申し込み

TEL: 06-6645-5123

FAX: 06-6645-5124

URL: <https://www.unicef-osaka.jp>

Email: un@unicef-osaka.jp